

考えられます。例えば一度通つた道順がもしも途中で変わったりするとひどいパニックを起こして抵抗します。こうした心理が彼らにはありますので、いつも外界に対してこだわりを持ちながら関係しています。こうした行動特性は成長してからも少なからず残存していきますが、こうした個性は周囲の理解さえあればすぐれた実力を發揮する側面をも持っていることは忘れていけません。

小兒自閉症(その3)

思春期のがんばりで、がんばりの合間に、から自閉症は脳障害を基盤に持つと考えられています。しかし加齢に伴い、個人によって実に多様な症状を呈しますので、生物的のみならず心理的、社会的（家族・学校など）要因も考えていかないと自閉症への正しい対応は生まれません。

あることによるのですが、年齢によりその病態は様相を変えていきます。ある時期を横断面でとらえるとそのようであつても、発達の経過を検討すると異なる場合は少なくありません。

らんてきて、少し白っぽく（貧血状態）になり、やがて歯肉を突き破るようにならぬか。つ顔を見せ始めます。しかし、顔を見せ始めてから噛み合わせに達するまでに、非常に時間がかかります。大体、下顎の6歳白歯で2～3年位は必要です。

ません。第二乳臼歯の後に、永久歯の中でも最も早く生えてくる大人の歯です。この歯は、赤ちゃんとおあさんのお腹の中にいる時（胎生4カ月頃）既に歯の芽ができ、ちょうど生まれて直ぐ、^{（生後1ヶ月）}二臼歯

第一臼齒(6歳臼齒)

うしましました?
ドクター ハーイ



福岡歯科大学
小児科歯科学教室
助手 石井 香

抜歯しなければならなくなることさえあります。一生働いてもらわないといけない大切な6歯臼歯ですが、残念なことにこのようにも途中でダウンしてしまう場合が多いようです。生え始めで噛み合わせが完了するまでが一番むし歯に成りやすい時期で特に注意が必要です。

いようと。それは、(1)噛み合
わせが完了するまでに時間がか
かる。(2)前の歯と段がついてい
る為ブランシングが届きにくい。
(3)噛み合わせの溝が複雑で物が
溜まりやすい。(4)生えたばかり

してみましょ
か、昼間の興奮が
か、昼間外気
いるか、自由
せているかな
ストレスが尾を
多いのです
ようなら、で
実行してあげ

く発達する生
ふえ始めます
ふだんとく
場合には、暑
かがすいてい
いていないか
いな、ひ、ど

う。かまいすぎて尾を引いていないと、昼間の心のスリードをたっぷり吸つてにひとり遊びをさして、心当たりがあることをからすぐ

後六カ月ごろから

健|康|ヨ|ラ|ム

眠りが浅い
個人差がある